



双塔

カトリック新潟教会

2022年11月
No. 414

船員司牧

協力司祭 ロレンゾ・ホセ・ルイス

新潟教会に着任し、協力司祭に任命された当初は、長岡にいた頃と同じようなことをするのだろうと思っていました。つまり、教会の典礼活動を手伝いながら、フィリピン人共同体の司牧をすることです。しかし、これまでと同じように、神様は他にやるべきことがあることを私に気づかせてくださいました。新潟市は港町なので、世界中の船が停泊し、貨物やコンテナを降ろしています。クルーズ船もあるかもしれないが、働く船員たちは、日常的なニーズだけでなく、霊的なニーズにも応えてくれる人を必要としています。そこで、船員への働きかけが行われるのです。カトリック教会は、このような働きに直接関わっており、船員をケアしているグループはステラ・マリスと呼ばれています。

日本カトリック難民移住移動者委員会のホームページにはこう書いてあります。

「ステラマリス」とはカトリック教会に属する世界的な組織で、世界各国の港で船員たちを訪問し、歓迎し、福利厚生や心のケアを目的とした奉仕活動「船員司牧」を行う組織です。日本の活動は1970年頃から始まったと言われていたますが、現在は、港を持つ教会の信徒、司祭、修道者、レイミッシヨナリーを含むスタッフが、日本各地で活動しています。長く「AOS (Apostleship Of the Sea) = 船員司牧」と呼ばれていましたが、100周年を迎えた2020年に、船員センターの愛称として親しまれてきた「ステラマリス Stella Maris (ラテン語で『海の星』の意味)」が正式名称となりました。日本カトリック難民移住移動者委員会は、船員司牧を委員会の大きな活動として位置づけ、日本の各港で支援を続けるスタッフと共に船員への支援の道を広げています。

「船員」というと、陸で生活している私たちにはほど遠い存在のように感じられますが、私たちが生活する上で、欠くことの出来ないあらゆる日用品の実に99%、そして日本の輸出入全体の99.7%が「みなと」を経由しているとも言われています。つまり、船員たちの働きが無ければ、生活、生命が成り立たないほど、私たちは「船員と船員の働き」に深い関わりを持っていると言えるのです。

しかし、船員たちの立場は弱く、長期に及ぶ航海の中で、彼らは様々な問題やストレスを抱えています。常に「海原」という自然を相手にした危険な職業である上に、生活空間は船上に限られ、寄港地で上陸して休む時間もごくわずかです。また、物品の流通を現場で担う彼らには、厳しい時間制限があり、家族との連絡もままなりません。ステラマリスのメンバーは、彼らに出会うために訪船し、彼らと会話することを通じて、包括的な活動を続けています。

成井司教様は、新潟市にステラマリスのグループを作り、新潟市を訪れる船員たちに奉仕できるようにすることにも関心を持たれています。訪船を考える前に、いろいろと手配しなければならぬことがあります。近い将来、そのようなグループが作られることを、すでに皆さんにお知らせしておくことが大切だと考えています。福音宣教は主に神の仕事であり、私たちは神の助力者に過ぎないと言われていています。この新しい宣教の場において、奉仕の呼びかけに応え、船員司牧を助ける者が現れますように。

♪ インフォメーション! ♪

★各勉強会、講座に参加される場合は必ずマスクを着用してご参加ください

●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前10時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 ラウール神父

●はじめて教会を訪れる人のための聖書勉強会

ラウール神父にご相談ください。

●信仰養成講座「知ってるつもり!？」

毎月第二土曜日（予定表参照） 会場 カトリックセンター研究室 指導 ラウール神父

●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会）（野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 11月21日(月)、12月12日(月)

時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

主日のミサと同様、新型コロナウイルス感染症対策にご協力をお願いいたします。

●聖堂出口付近に関するお願い

ミサ後、出口付近でお話しされますと混雑してしまい、密集状態になりかねません。お話しされる場合は、聖堂を出た後にさせていただきますようよろしくお願いいたします。

●新しいミサの式次第

待降節の第一主日からミサの式次第が変わります。新しいミサのしおりは、売店で取り扱っています。ご自分に合うものを選んでご用意ください。

♪ そよかせ便り ♪

●新潟地区信仰養成講座 開催 10月15日 13:30～15:00 センター2F

今年は、岡秀太神父が『聖書をひらく』をテーマに話された。リラックスして聴いて下さいと始まり、5分間の休憩を2回とるなどの心遣いの中で、参加者は落ち着いた気分で話に集中していた。

聖書は歴史や科学書ではなく、「救いの書」であると話され、例として「カナの婚礼」と「放蕩息子」のたとえをあげられた。

最後に、東日本大震災後に三陸海岸を見下ろす丘に設置された電話線のない「風の電話」の話がされ、私たちの信仰生活に通じると示唆された。

参考：「風の電話」は、岩手県大槌町の海を見下ろす丘に置かれた私設電話ボックス。そこには電話線が繋がっていないダイヤル式の黒電話とノートが1冊置かれており、来訪者は電話で亡き人に思いを伝えたり、ノートに気持ちを記載したりできる。（ウィキペディアより抜粋）



2022年11月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
1日(火)	諸聖人(祭)
4日(金)	・ミサ 10:00 (初金)
6日(日)	年間第32主日 帰天された方の為のミサ ・小教区評議会 (9:30 ミサ後) ・英語ミサ (12:00) ・センター&外のトイレ清掃 (英語ミサ後)
9日(水)	ラテラン教会の献堂(祝)
12日(土)	・信仰養成講座「知ってるつもり!？」 (10:00 研究室)
13日(日)	年間第33主日 貧しい人のための世界祈願日 子どものためのミサ (七五三の祝福) ・総務部会 (9:30 ミサ後 研究室)
20日(日)	王であるキリスト(祭) 世界青年の日 ・聖堂、センター&外のトイレ清掃 (9:30 ミサ後) ・馬小屋作り・ツリー・イルミネーションの飾り付け ・季刊双塔「王であるキリスト号」発行 ・広報部会 (9:30 ミサ後)
20日(日)~27日(日) 聖書週間	
27日(日)	待降節第1主日(新しいミサ式次第) ・教会維持費の整理 (9:30 ミサ後 事務室) ・国際協力部会 (9:30 ミサ後 研究室)

※「教会の行事」が変更される場合は、日曜日毎に発行の「お知らせ」などでお伝えします。

※ミサ時間：主日日曜日 (7:00 9:30) 英語ミサ (第1日曜日 12:00)

週日 (7:00、金曜日のみ 10:00)

